

報道関係者各位

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022 開催案内及び取材要領

国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022 について、報道関係者の皆様取材いただきたく、以下のとおり御案内いたします。

1. 本ワークショップについて

(1) 主催：原子力損害賠償・廃炉等支援機構

共催：経済協力開発機構原子力機関

(2) 日付・場所：

2022年7月23日(土)9:00～16:40(予定)

7月24日(日)8:55～15:20(予定)

於：日本原子力研究開発機構 檜葉遠隔技術開発センター

(福島県双葉郡檜葉町大字山田岡字仲丸 1-22)

(3) 実施概要

当機構は、福島復興を成し遂げていくための廃炉をはじめとする多くの課題解決のためには理工系人材のジェンダーバランスの改善が重要と考えています。

そこで機構では、経済協力開発機構・原子力機関(OECD/NEA)共催のもと、理工系分野での女性人材の確保と活躍を促進するための活動の一環として、福島をはじめとする全国の女子高生を対象に国内外の理工系女性研究者等との交流を通じて科学・工学への興味・関心を高め、将来の選択肢の一つとして理工系への進学を検討していただくことを目的とした「国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima」を2019年より開催しています。

過去2年は新型コロナウイルスの影響からオンラインでの開催となりましたが、本年は対面開催の再開を予定しています。

7月23日(土)：基調講演・メンター講演等(午前)、ワークショップ(午後)、施設見学

7月24日(日)：ワークショップ、発表

詳細は添付資料を御確認ください。

・国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022 実施概要

2. 取材登録について

- 取材に当たっては、**事前の登録が必要です**。取材を希望される場合は、登録票に必要事項を記入の上、FAX またはメール(h_dai11@ndf.go.jp)にてご登録ください。登録票は取材要領に付属のものを使用してください。

(1) 登録方法

- ◆取材登録には付属の登録票を使用してください。必要事項をご記入の上、FAX またはメールにて申し込みをお願いします。
- ◆事前登録をいただいた後、個別取材等の調整の必要がある場合には、改めて連絡及び調整をさせていただきます。
- ◆登録先: 原子力損害賠償・廃炉等支援機構
国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022 事務局
報道担当
E-mail: h_dai11@ndf.go.jp
FAX: 03-5545-7116

(2) 登録締切

- ◆海外参加者への取材申し込み: 7月8日(金)15:00まで(厳守)
 - ◆その他、取材申し込み: 7月21日(木)15:00まで(厳守)
- ※事前登録が完了されていない場合は、原則として入場・取材をお断りいたします。

3. 当日の受付について

(1) 受付場所

- ◆7月23日(土)、24日(日): 日本原子力研究開発機構(JAEA) 櫛葉遠隔技術開発センター
研究管理棟 3階 受付

(2) 受付時間

- ◆7月23日(土) 8:40~10:00
7月24日(日) 8:40~13:00

(3) 当日お持ちいただくもの

- ◆名刺
- ◆写真付きの記者証(社員証等)
- ◆記者腕章

(4) プレス用パス

- ◆受付にて事前登録及び記者証の確認をさせていただき、御名刺と引き換えに「プレス用パス」を発行します。
- ◆プレス用パスは会場内では常時首にかけて携行してください。
- ◆途中退場/入場は会場出入り口付近にてパスを確認させていただきます。

4. プレス控え室のご利用について

開催期間中は、会場にプレス控え室を設置します。場所、利用時間等は以下のとおりです。

(1) 場所

◆日本原子力研究開発機構 檜葉遠隔技術開発センター 研究管理棟 2階

(2)利用時間

◆7月23日(土) 8:40~17:00

◆7月24日(日) 8:40~16:00

(3)その他

◆パソコン及びインターネット接続用の機器は各自でご用意ください。また、延長コードについても主催者側・会場側では用意できませんので必要がある場合には各自でご準備ください。

◆持ち込まれる機材の管理は、各社の責任にてお願いします。盗難・事故等について、主催者及び会場側では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

◆飲食物の持ち込みは可能ですが、ゴミはゴミ箱へ捨てる等、控え室内の清潔な利用をお願いします。

5. 昼食について

◆主催者側にて、ワークショップ参加者以外の昼食はご用意できませんので、必要な方は各自でご用意いただくようお願いいたします。

6. 取材可能な時間・場所について

(1)撮影可能な時間・場所一覧(予定)

※取材要領配布時点での予定のため、変更・追加があり得ることをご承知おきください。変更・追加がある場合には、当日朝または随時控え室にて説明、ないし掲示等でご案内します。

<7月23日(土)>

時間 (変更の可能性有り)	プログラム	会場	撮影可否 (フラッシュ等静止画撮影)	備考
9:00-9:30	開会挨拶 (NDF/NEA) ビデオメッセージ上映	3階 多目的室	原則撮影可	日英同時通訳あり
9:30-10:00	基調講演 (共同議長) 写真撮影	3階 多目的室	原則撮影可	日英同時通訳あり
10:10-12:00	講演 (各メンター)	3階 多目的室	原則撮影可	日英同時通訳あり

<7月24日(日)>

時間 (変更の可能性有り)	プログラム	会場	撮影可否 (フラッシュ等静止画撮影)	備考
8:55-9:15	オープニング (F.レイメント) 復興庁挨拶 (調整中)	3階 多目的室	原則撮影可	逐次通訳あり
13:05-14:35	発表	3階 多目的室	原則撮影可	日英同時通訳あり
14:35-15:15	講評・閉会 (共同議長)	3階 多目的室	原則撮影可	日英同時通訳あり

(2)プレス席

◆会場では、「プレス関係者席」を設けます。

◆カメラ等の機材類を足元に置かれる場合は、周りの方へのご配慮、またはご遠慮願います。

(3)講演中の撮影取材

◆スチールカメラ、TVカメラ(ハンディ含む)の撮影は、決められた場所・時間以外ではご遠慮ください。また、自席からの撮影は、周りのご迷惑にならない範囲であれば可能です。

(4)学生への取材・撮影

◆プログラム中の遠景での会場撮影・取材は可とします。個々の学生への取材はご遠慮ください。

- ◆記事に学生の所属、氏名等を掲載する等の場合は、事務局にご一報ください。
- ◆一部の生徒は、取材・撮影不可です。受付時にお知らせします。
- ◆メンターと学生のグループワークの取材・撮影は不可ですが、事務局にてグループワークの様子を写真撮影いたしますので、写真を希望される場合は登録票にその旨をご記入ください。

(5) 参加等への個別取材

- ◆参加者等に対して個別インタビュー等を希望される場合、登録票の「取材の申し込み」欄にその旨を記載してください。希望を踏まえて、事務局にて調整いたします。(ただし、申し込みをいただいた場合でも取材不可となることがあります。あらかじめご了承ください。)
- ◆本ワークショップの開催に関連して、事務局を通さず、参加者等への個別インタビュー等の申し込みを行うことはご遠慮ください。

7. その他注意事項について

- ◆JAEA への入構時、守衛所での体調記録シートへの記入及び検温にご協力ください。
- ◆取材要領に記載のない事項については、事務局や会場スタッフの指示に従っていただきますようお願いいたします。また、当日、取材要領の変更が生じた場合も同様です。従っていただけない場合は、取材の中止を求め、または取材登録を取り消すことがあります。
- ◆参加者や講演者の動線の妨げにならないよう注意してください。
- ◆会場へのアクセスは日本原子力研究開発機構 櫛葉遠隔技術開発センターHP アクセスにてご確認ください。(<https://naraha.jaea.go.jp/access.html>)

以上

取材参加登録票

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022 報道担当宛て

(FAX: 03-5545-7116) (E-mail: h_dai11@ndf.go.jp)

(撮影クルーの方も入場される方は全て記載して下さい)

締切: 7月21日(木) 15:00

●「国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022」に取材参加登録を行います。

【取材参加登録】 ※個人情報、今回の取材参加登録に限って使用いたします。

	ご記入ください	
会社名／所属	／	
氏名(ふりがな)		
住所(会社住所)		
連絡先(通常／携帯)	(お急ぎご確認のご連絡をする場合がございます) ／	
メールアドレス	(通常ご連絡のつくアドレスをお書き下さい)	
持込機材 (カメラ・三脚等)	(物量が分かるようにお書きください)	
取材の申し込み (希望内容を記載下さい)	取材希望 対象者	
	取材希望 内容	
	補足説明	

【取材参加日程】 ※参加予定の枠に○を付けてください。

7/23(土)	
7/24(日)	

「国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022」実施概要

2022年7月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

1 目的

当機構は、福島復興を成し遂げていくための廃炉をはじめとする多くの課題解決のためには理工系人材のジェンダーバランスの改善が重要と考えています。

そこで機構では、経済協力開発機構・原子力機関（OECD/NEA）共催のもと、理工系分野での女性人材の確保と活躍を促進するための活動の一環として、福島をはじめとする全国の女子高生を対象に国内外の理工系女性研究者等との交流を通じて科学・工学への興味・関心を高め、将来の選択肢の一つとして理工系への進学を検討していただくことを目的とした「国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima」を2019年から開催しています。

過去2年は新型コロナウイルスの影響からオンラインでの開催となりましたが、本年は対面開催の再開を予定しています。

2 開催概要（案）

- (ア) 主催：原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）
- (イ) 共催：経済協力開発機構・原子力機関（OECD/NEA）
- (ウ) 日程：7月23日（土）～25日（月）
（7月23日（土）～24日（日）：本会、7月25日（月）：希望者による1F視察）
- (エ) 会場：日本原子力研究開発機構 檜葉遠隔技術開発センター
- (オ) 共同議長：（日本）室伏きみ子（お茶の水女子大学）
（海外）フィオナ・レイメント（国立原子力研究所（NNL）UK）*メンター兼任
- (カ) メンター：渡辺美代子（科学技術振興機構）
佐々木成江（お茶の水女子大学）
石井葉子（東京電力）
秋山茉莉子（東京大学）
タチアナ・イヴァノヴァ（OECD/NEA）
リサ・マクブライド（GE HITACHI SMR CANADA）
ジャミラ・アル・スワイディ（アラブ首長国連邦原子力規制庁）
- (キ) 特別講演：福島レクチャー 田辺有紀（経済産業省資源エネルギー庁）
福島原発廃炉に係る最先端技術について 岩渕美咲（東京電力）
- (ク) 参加：福島県を中心とした全国の女子高生
海外から参加の理工系選択の女子高生

3 プログラム

【テーマ】理工系分野での私の未来を考える

- ・ 将来への不安（進路・就職など）について意見を交換・共有し、メンターとの交流を通して改めて自分のキャリア形成について考える機会とする
 - ・ 様々な分野からの学びにより、選択肢の幅を広げる
 - ・ 自分の将来とともに、福島の現状と復興、廃炉について考える
- ◆ 「理工系分野での私の未来を考える」をテーマに、共同議長・メンターの講演を受けての感想も含め、グループディスカッションで意見交換を行います。
 - ◆ 事故発生時から福島地域の産業・廃炉の現在の状況、今後の見通し等のインプットとして経済産業省資源エネルギー庁の田辺さんによる「福島レクチャー」を行います。
このレクチャーを受けて、参加者には自分の将来と福島復興・廃炉について関連する部分があるのか、福島に住んでいて感じる事、あるいは、福島を外から見ていて感じる事等考え、福島の課題について向き合う時間を持っていただきます。
 - ◆ DAY 1（7月23日）に JAEA 櫛葉施設見学を行います。
施設見学後、東京電力の岩淵さん（Joshikai in Fukushima 2021 メンター）による特別講演を予定しています。
 - ◆ ワークショップの締めくくりとして、グループ内での意見をまとめ、発表します。

【DAY 1（7月23日（土））Joshikai in Fukushima 2022】

基調講演

メンター講演

福島レクチャー

JAEA 櫛葉視察・特別講演

グループディスカッション

【DAY 2（7月24日（日））Joshikai in Fukushima 2022】

グループディスカッション

発表

【DAY 3（7月25日（月））オプションル】

希望者による 1F 視察